

Track1～5（ハイブリット）+ワークショップトラック						
Track01	Track02	Track03	Track04	Track05	Track11	
国際会議場	605	606	607	608	703	
9:30～ A0《15分》 オープニングセッション JaSST Tokyo 実行委員会						
9:45～ A1《90分》 When AI Joins the Test Team: Promise, Pitfalls, and the Future of Software Quality AIがテストチームに加わるとき-期待、落とし穴、そしてソフトウェア品質の未来 - Gayathri Mohan						
休憩 11:15～11:45《30分》						
11:45～ A2《60分》 曖昧な要求は仕様かバグか？～AI時代の仕様とテストを考える 栗田 太郎（フリー） 苅田 蓮（フリー）	11:45～ B2《60分》 JISマーク認証のその先へ～事業として「売れる」サービスの品質保証とは何か、総務大臣認定タイムスタンプサービスの裏側～ 伊藤 潤平（ウイングアーク1st） 安田 昂平（ウイングアーク1st） 永井 潤也（ウイングアーク1st）	11:45～ C2《60分》 QA エンジニアに対しての課題解決型教育は効果があるのか？～QAゼミ全2回を通した考察～ 河野 哲也（ナレッジワーク） 湯本 剛（ytte Lab） 横田 雅和（ZENKIGEN） 高瀬 真衣（ヒューマンクレスト） 菊池 のぞみ（Voicy） 末村 拓也（Ublee）	11:45～ D2《60分》 品質を経営にどう語るか kyon_mm（デロイト トーマツ） naco_mm（キャディ）	11:45～ E2-1《30分》 AI時代における、「めっちゃくちゃ開発するQAエンジニア」というキャリアの在り方 山本 龍平（estlie） 12:15～ E2-2《30分》 テストプロセスにおけるAI活用：人間とAIの共存 滝田 啓介（hacomonono） 鮫子 将樹（hacomonono）	11:45～ 《120分》 ソフトウェアテスト 最初の一步 2026年版 ～クラシフィケーションツリー技法をワークで体験しながら学ぶ～ 風間 裕也（WACATE実行委員会） 岡野 誠（WACATE実行委員会） 常盤 香央里（WACATE実行委員会） 川上 大智（WACATE実行委員会） 黒木 洋平（WACATE実行委員会） 並木 正典（WACATE実行委員会） 村随 紀成（WACATE実行委員会） 山口 寛子（WACATE実行委員会） 吉村 優（WACATE実行委員会）	
休憩 12:45～13:50《65分》						
13:50～ A3-1《45分》 スペシャルトークセッション「AIと品質保証のこれまでとこれから」 松本 晋祐（ベリサーブ） 須原 秀敏（ベリサーブ） 山崎 崇（ベリサーブ）	13:50～ B3-1《45分》 欠陥分析（ODC分析）における生成AIの活用プロセスと実践事例 山腰直樹（SHIFT） 吉澤麻由（SHIFT） 石井優（SHIFT）	13:50～ C3-1《45分》 今日から始められるテスト自動化～基礎知識から生成AI活用まで～ 伊藤 由貴（MagicPod）	13:50～ D3-1《45分》 QA組織のAI戦略とAIテスト設計システムAITASの実践 佐藤 水城（Sansan）	13:30～ 《120分》 選択が運命を分ける！リスク体験ゲームブック 坂 静香（ASTER） 佐藤 博之（JaSST Tokyo実行委員） 田中 智典（JaSST Tokyo実行委員）		
休憩 13:35～14:45《10分》						
14:45～ A3-2《45分》 AIがQAエンジニアの仕事奪うのか？ 安野 貴博（チームみらい） 長島 貴雄（テクバン） 豊田 悠太（テクバン）	14:45～ B3-2《45分》 AIDD（生成AIやLLMを前提としたAI駆動開発）・SDD（Spec Driven Development）時代のQA対応 ーQAは何を品質として観測するのかー 小川 裕雄（2WINS） 後藤 香織（ポルトゥウィン） 久保 雅之（ポルトゥウィン）	14:45～ C3-2《45分》 その一瞬の不具合が、お客様の信頼を左右する。「当たり前動く」を支え続ける、トランスコスモス×ライフネット生命の品質への流儀 山田 雅大（ライフネット生命） 後藤 弘行（トランスコスモス） 北野 明香里（NTTレゾナントテクノロジー）	14:45～ D3-2《45分》 Autify	14:25～ 《170分》 技法を探せ！ 下浅 大輔（テクノラボ） 穂 田弥（テックタッチ） 竹内 瑛央（サイボウズ） 友田 賢基（Skillnote） 吉田 航（セイコーエプソン） 上田 京右（テクノラボ）		
休憩 15:30～15:50《20分》						
15:50～ A4《60分》 シラバスを超えて語る、テストマネジメント 森田 麻沙美（Voicy） 湯本 剛（ytte Lab） 高木 陽平（AGEST） 亀井 亮介（マネーフォワード）	15:50～ B4《60分》 生成AI時代、ソフトウェア品質保証のルールと組織はどこへ向かうのか？ 山本 久に朗（Omiai） 常盤 香央里（グロース・アーキテクチャ・チームス） 三輪 東（SCSK） 伊藤 潤平（ウイングアーク1st） 井芹 洋輝（SigSQA） 小島 直毅（Adobe）	15:50～ C4《60分》 Beyond Quality Assurance -AIと拓くQAの未来像- 池之上 あかり（LINEヤフー） 平田 香織（LINEヤフーコミュニケーションズ）	15:50～ D4-1《30分》 AIが出力したソースコードを、どう疑い、どう検証すべきか～低レイヤー領域のテストに求められる「物理的視点」の検証ポイント～ 新井 雅嗣（ハートランド・データ） 16:20～ D4-2《30分》 スケールアップ企業でQA組織が機能し続けるための組織設計と仕組み～ボトムアップとトップダウンを両輪としたアプローチ～ 平田 敏之（SmartHR）	15:50～ E4-1《30分》 "個"から"組織"へ、そして"自走"へ～QA組織立ち上げ3年の軌跡～ 板山 豪（コインチェック） 16:20～ E4-2《30分》 QA組織の未来をつくる～ジュニアもシニアも輝くチームとAI活用のリアル～ 犬島 竜也（KINTOテクノロジーズ） 山口 大輔（KINTOテクノロジーズ） 東地 隼太（KINTOテクノロジーズ） 岡 郁弥（KINTOテクノロジーズ）		
休憩 16:50～17:20《30分》						
17:20～ A5《90分》 人と関わるロボットの研究開発 -ロボットにおける人間らしさの重要性 - 石黒 浩（大阪大学）						
18:50～ A6《15分》 クロージングセッション JaSST Tokyo 実行委員会						
情報交換会						

Track6～10				
Track06	Track07	Track08	Track09	Track10
609	610	701	702	604
11:45～ F2《60分》 ソフトウェアテスト技術振興協会(ASTER)調査 研究事業の活動紹介 増田 聡（東京都市大学） 武田 友宏（富山大学） 須原 秀敏（ベリサーブ） 嬉野 綾（バグシェルジュ/SReEE） 伊藤 瑞紀（Works Human Intelligence） 安達 賢二（SReEE） 森 貴彦（組込みCI研究WG） 林 宏昌（組込みCI研究WG） 東山 薫（智美塾） 勅使川原 大輔（ゲームのテスト研究会/WFS）	11:45～ G2-1《30分》 QAプロセスAI支援ツールの導入とその 効果について 引持 力哉（LegalOn Technologies） 12:15～ G2-2《30分》 主体的に活躍する内製QA組織への変革実践事 例 金子 佳樹（ラクス）	11:45～ H2-1《30分》 生成AIで支える自動E2Eテストの継続運用 大房 雨（Sansan） 12:15～ H2-2《30分》 事例から紐解くSHIFT流QA支援 ～プロジェク トの品質管理支援、QA組織立ち上げ～ 織織望（SHIFT）	11:45～ I2-1《30分》 モバイルQAの壁を突破～デバイスクラウド×自 動化で持続可能なQA体制へ～ 伊藤 由貴（MagicPod） 早川 彰彦（NTTレゾナントテクノロジー） 12:15～ I2-2《30分》 CI/CDで実機テストの手動操作部分も自動化し てみた話 ～低レイヤー領域の開発におけるテス ト自動化の取り組み～ 小泉 友晃（ハートランド・データ）	11:45～ J2-1《30分》 開発チームとQAエンジニアの新しい協業モデ ル：年末調整開発チームで実践する [QAリー ド施策] 平澤 孝仁（SmartHR） 依田 重実（SmartHR） 12:15～ J2-2《30分》 仕様漏れ実装漏れをなくすトレーサビリティAI 基盤のご紹介 国分 佑樹（コインチェック）
13:50～ F3-1《30分》 あなたのシステムの壊し方 末村 拓也（Ubie）	13:50～ G3-1《30分》 JSTQB	13:50～ H3-1《30分》 ソフトウェアレビュー評価マトリクスに基づく パフォーマンス改善実践促進 安達 賢二（Software Quasol）	13:50～ I3-1《30分》 意思決定のための品質分析～クライアントが理 解できる分析を～ 佐藤 俊之（デロイト トーマツ） 竹林 大輔（デロイト トーマツ）	13:50～ J3-1《30分》 そうだ、全員QAでいいこう。：境界を溶かして チームで品質をつくる 山田 恭平（Lychee Redmine） 徳田 紗矢香（Lychee Redmine） 水島 友利絵（Lychee Redmine）
休憩 14:20～14:25（5分）				
14:25～ F3-2《30分》 Slerの大規模案件で探索的テストを続けてみた ら。—2,193時間の積み重ねと可視化の試み 吉村 優（NTTドコモソリューションズ）	14:25～ G3-2《30分》 AIを活用したリバースエンジニアリングで考え る自動テストの全体方針 村上 横（estie）	14:25～ H3-2《30分》 LLMを用いたユニットテスト生成における実行時エ ラー抑制のためのプロンプト手法の提案 山田 泉樹（ソニーグローバルマニファクチャリ ング&オペレーションズ）	14:25～ I3-2《30分》 AIエージェント×GitHubで実現するQAナレッジ の資産化と業務活用 今西 空悟（ヤプリ）	14:25～ J3-2《30分》 LLMでもいつものテスト技術～意外と半分はこ れまでのテストでした～ 水谷 太一（サイボウズ）
休憩 14:55～15:00（5分）				
15:00～ F3-3《30分》 バグ重篤度とテストサイズを用いたテストアプ ローチによるSaaS製品の信頼性とリリース速度 の向上 菊田 蓮（フリー）	15:00～ G3-3《30分》 開発者とQAエンジニアが協働で取り組む仕様 精査・詳細化プロセスの実践事例 富田 浩史（ナレッジワーク）	15:00～ H3-3《30分》 LLMのテスト分析・テスト設計能力を測定する ためのベンチマーク手法 吉川 努（ベリサーブ）	15:30～ I3-3《30分》 ビルドトラップを脱却し、真に顧客満足を実現 するチームへ～小さなフィードバックループが もたらした1年間の変化～ 赤崎 光（カオナビ）	15:30～ J3-3《30分》 生成AIで速度と品質を両立する、QAエンジニ ア・開発者連携のAI協調型テストプロセス 草場 翔太（エムスリー）
15:50～ F4《60分》 テスコンNow 2026 秋谷 勤（テスト設計コンテスト） 近美 克行（テスト設計コンテスト） 原山 譲（パナソニックITS） 佐藤 克哉（パナソニックITS） 山本 涼雅（パナソニックITS）	15:50～ G4《60分》 みんなでつくったJaSSTnanoの いこ(ICO)（JaSSTnanoお世話係） 安達 賢二 きたのしるくま（JaSSTnanoお世話係） 朱峰 鏡司 a.k.a. きんぞ（JaSSTnanoお世話係） 川崎 久美 かわくみ（JaSSTnanoお世話係） そうすけ（JaSSTnanoお世話係） 蒼（JaSSTnanoお世話係） やますん（JaSSTnanoお世話係）	15:50～ H4-1《30分》 QAって、この先どうなるの？—新卒QAが語 る“伸びる人・止まる人”の分岐点 平間 良成（テクバン） 荻原 碧（テクバン） 岩崎 凌也（テクバン） 16:20～ H4-2《30分》 開発ライフサイクル全体で考えるプロアクティ ブなQA ～“品質の創り込み”の重要性和、 PTW実践事例～ 木川 広基（ポルトゥウィン）	15:50～ I4-1《30分》 プログラミング不要！テスト自動化における生 成AI使いこなし術 伊藤 望（MagicPod） 16:20～ I4-2《30分》 “AI駆動開発に対するQAを考える会”を立ち 上げました！ 白川 亮太（ベリサーブ）	15:50～ J4-1《30分》 新規事業×QAの挑戦：不確実性を乗り越えなす！ フェーズごとに求められるQAの役割変革 塩濱 優（hacomoно） 廣田 大騎（hacomoно） 西 睦音（hacomoно） 16:20～ J4-2《30分》 JSTQB

Track01	Track02	Track03	Track04	Track05	Track06	Track07	Track08	Track09	Track10	Track11		
国際会議場	605	606	607	608	609	610	701	702	604	601	703	
9:30～ A0《15分》 オープニングセッション JaSST Tokyo 実行委員会												
9:45～ A1《90分》 When AI Joins the Test Team: Promise, Pitfalls, and the Future of Software Quality AIがテストチームに加わるとき- 期待、落とし穴、そしてソフトウェア品質の未来 - Gayathri Mohan												
休憩 11:15～11:45《30分》												
11:45～ A2《60分》 暖味な要求は仕様かバグか？—AI時代の仕様とテストを考える 栗田 太部（フリー） 苅田 蓮（フリー）	11:45～ B2《60分》 JISマーク認証のその先へ～事業として「売れる」サービスの品質保証とは何か、総務大臣認定タイムスタンプサービスの裏側～ 伊藤 潤平（ウイングアーク1st） 安田 昂平（ウイングアーク1st） 永井 潤也（ウイングアーク1st）	11:45～ C2《60分》 QA エンジニアに対しての課題解決型教育は効果があるのか？～QAゼミ全2回を通した考察～ 河野 哲也（ナレッジワーク） 湯本 剛（ytte Lab） 横田 雅和（ZENKIGEN） 高瀬 真衣（ヒューマンクエスト） 菊池 のぞみ（Voicy） 末村 拓也（Ubie）	11:45～ D2《60分》 品質を経営にどう語るか kyon_mm（デロイト トーマツ） naco_mm（キャディ）	11:45～ E2-1《30分》 AI時代における、「めっちゃくちゃ開発するQAエンジニア」というキャリアの在り方 山本 龍平（estie） 12:15～ E2-2《30分》 テストプロセスにおけるAI活用：人間とAIの共存 滝田 啓介（hacomono） 蛸子 将樹（hacomono）	11:45～ F2《60分》 ソフトウェアテスト技術振興協会(ASTER)調査研究事業の活動紹介 増田 聡（東京都市大学） 武田 友宏（富山大学） 須原 秀敏（ベリサープ） 端野 綾（バグシェルジュ/SReEE） 伊藤 瑞紀（Works Human Intelligence） 安達 賢二（SReEE） 森 貴彦（組込みCI研究WG） 林 宏昌（組込みCI研究WG） 来山 薫（智美塾） 動使川原 大輔（ゲームのテスト研究会/WFS）	11:45～ G2-1《30分》 QAプロセスAI支援ツールキットの導入とその効果について 引持 力哉（LegalOn Technologies） 12:15～ G2-2《30分》 主体的に活躍する内製QA組織への変革実践事例 金子 佳樹（ラクス）	11:45～ H2-1《30分》 生成AIで支える自動E2Eテストの継続運用 大房 甫（Sansan） 12:15～ H2-2《30分》 事例から紐解くSHIFT流QA支援 ～プロジェクトの品質管理支援、QA組織立ち上げ～ 綿織 望（SHIFT）	11:45～ I2-1《30分》 モバイルQAの壁を突破～デバイスクラウド×自動化で持続可能なQA体制へ～ 伊藤 由貴（MagicPod） 早川 彰彦（NTTレゾナントテクノロジー） 12:15～ I2-2《30分》 CI/CDで実機テストの手動操作部分も自動化してみた話 ～低レイヤー領域の開発におけるテスト自動化の取り組み～ 小泉 友昂（ハートランド・データ）	11:45～ J2-1《30分》 開発チームとQAエンジニアの新しい協業モデル：年末調整開発チームで実践する【QAリード施策】 平澤 孝仁（SmartHR） 依田 直実（SmartHR） 12:15～ J2-2《30分》 仕様漏れ実装漏れをなくすトレーサビリティAI基盤のご紹介 国分 佑樹（コインチェック）	11:45～ 《120分》 ソフトウェアテスト 最初の一步 2026年版 ～クラシフィケーションツリー技法をワークで体験しながら学ぶ～ 風間 裕也（WACATE実行委員会） 岡野 誠（WACATE実行委員会） 常盤 香央里（WACATE実行委員会） 川上 大智（WACATE実行委員会） 黒木 洋平（WACATE実行委員会） 並木 正典（WACATE実行委員会） 村越 紀成（WACATE実行委員会） 山口 寛子（WACATE実行委員会） 吉村 優（WACATE実行委員会）		
休憩 12:45～13:50《65分》												
13:50～ A3-1《45分》 スペシャルトークセッション「AIと品質保証のこれまでとこれから」 松本 晋祐（ベリサープ） 須原 秀敏（ベリサープ） 山崎 崇（ベリサープ）	13:50～ B3-1《45分》 欠陥分析（ODC分析）における生成AIの活用プロセスと実践事例 山藤直樹（SHIFT） 吉澤麻由（SHIFT） 石井優（SHIFT）	13:50～ C3-1《45分》 今日から始められるテスト自動化～基礎知識から生成AI活用まで～ 伊藤 由貴（MagicPod）	13:50～ D3-1《45分》 QA組織のAI戦略とAIテスト設計システムAITASの実践 佐藤 水哉（Sansan）	13:30～ 《120分》 選択が運命を分ける！リソース体験ゲームブック 坂 静香（ASTER） 佐藤 博之（JaSST Tokyo実行委員） 田中 智典（JaSST Tokyo実行委員）	13:50～ F3-1《30分》 あなたのシステムの嘆し方 末村 拓也（Ubie）	13:50～ G3-1《30分》 JSTQB 休憩 14:20～14:25（5分）	13:50～ H3-1《30分》 ソフトウェアレビュー評価マトリクスに基づくパフォーマンス改善実践促進 安達 賢二（Software Quasol）	13:50～ I3-1《30分》 意思決定のための品質分析～クライアントが理解できる分析を～ 佐藤 俊之（デロイト トーマツ） 竹林 大輔（デロイト トーマツ）	13:50～ J3-1《30分》 そうだ、全員QAでいいこう。：境界を溶かしてチームで品質をつくる 山田 恭平（Lychee Redmine） 徳田 紗矢香（Lychee Redmine） 水島 友利絵（Lychee Redmine）			
休憩 13:35～14:45《10分》												
14:45～ A3-2《45分》 AIがQAエンジニアの仕事奪うのか？ 安野 貴博（チームみらい） 長島 貴雄（テカパン） 豊田 悠太（テカパン）	14:45～ B3-2《45分》 AIDD（生成AIやLLMを前提としたAI駆動開発）・SDD（Spec Driven Development）時代のQA対応 —QAは何を品質として観測するのか— 小川 裕徹（2WINS） 後藤 香織（ポルトゥウィン） 久保 雅之（ポルトゥウィン）	14:45～ C3-2《45分》 その一瞬の不具合が、お客様の信頼を左右する。「当たり前前に動く」を支え続ける、トランスコスモス×ライフネット生命の品質への挑戦 山田 雅大（ライフネット生命） 後藤 弘行（トランスコスモス） 北野 明香里（NTTレゾナントテクノロジー）	14:45～ D3-2《45分》 Autify 休憩 15:30～15:50《20分》			14:25～ F3-2《30分》 Slerの大規模案件で探索的テストを続けてみたら。—2,193時間の積み重ねと可視化の試み 吉村 優（NTTドコモソリューションズ）	14:25～ G3-2《30分》 AIを活用したリバースエンジニアリングで考える自動テストの全体方針 村上 横（estie）	14:25～ H3-2《30分》 LLMを用いたユニットテスト生成における実行エラー抑制のためのプロンプト手法の提案 山田 泉樹（ソニーグローバルマニファクチャリング&オペレーションズ）	14:25～ I3-2《30分》 AIエージェント×GitHubで実現するQANレッジの資産化と業務活用 今西 空梧（ヤプリ）	14:25～ J3-2《30分》 LLMでもいつものテスト技術～意外と半分はこれまでのテストでした～ 水谷 太一（サイボウズ）		
休憩 14:55～15:00（5分）												
15:00～ F3-3《30分》 バグ重篤度とテストサイズを用いたテストアプローチによるSaaS製品の信頼性とリリース速度の向上 苅田 蓮（フリー）	15:00～ G3-3《30分》 開発者とQAエンジニアが協働で取り組む仕様精査・詳細化プロセスの実践事例 富田 浩史（ナレッジワーク）	15:00～ H3-3《30分》 LLMのテスト分析・テスト設計能力を測定するためのベンチマーク手法 吉川 努（ベリサープ）	15:30～ I3-3《30分》 ビルドトラップを脱却し、真に顧客満足を実現するチームへ～小さなフィードバックループがもたらした1年間の変化～ 赤崎 光（カオナビ）		15:30～ J3-3《30分》 生成AIで速度と品質を両立する、QAエンジニア・開発者連携のAI協調型テストプロセス 草場 翔太（エムスリー）							
休憩 15:30～15:50《20分》												
15:50～ A4《60分》 シラバスを超えて語る、テストマネジメント 森田 麻沙美（Voicy） 湯本 剛（ytte Lab） 高木 陽平（AGEST） 亀井 亮介（マネーフワード）	15:50～ B4《60分》 生成AI時代、ソフトウェア品質保証のロールと組織はどこへ向かうのか？ 山本 久仁朗（Omia） 常盤 香央里（グロース・アーキテクチャ&チームス） 三輪 東（SCSK） 伊藤 潤平（ウイングアーク1st） 井芹 洋輝（SigSQA） 小島 直毅（Adobe）	15:50～ C4《60分》 Beyond Quality Assurance -AIと拓くQAの未来像- 池之上 あかり（LINEヤフー） 平田 香織（LINEヤフーコミュニケーションズ）	15:50～ D4-1《30分》 AIが出力したソースコードを、どう疑い、どう検証すべきか～低レイヤー領域のテストに求められる「物理的視点」の検証ポイント～ 新井 雅嗣（ハートランド・データ） 16:20～ D4-2《30分》 スケールアップ企業でQA組織が機能し続けるための組織設計と仕組み～ボトムアップとトップダウンを両輪としたアプローチ～ 平田 敏之（SmartHR）	15:50～ E4-1《30分》 “個”から“組織”へ、そして“自走”へ～QA組織立ち上げ3年の軌跡～ 板山 豪（コインチェック） 16:20～ E4-2《30分》 QA組織の未来をつくる～ジュニアもシニアも輝くチームとAI活用のリアル～ 大島 竜也（KINTOテクノロジーズ） 山口 大輔（KINTOテクノロジーズ） 東地 隼太（KINTOテクノロジーズ） 岡 郁奈（KINTOテクノロジーズ）	15:50～ F4《60分》 テスコンNow 2026 秋谷 勲（テスト設計コンテスト） 近美 克行（テスト設計コンテスト） 原山 謙（リパソニックITS） 佐藤 克哉（リパソニックITS） 山本 源彦（リパソニックITS）	15:50～ G4《60分》 みんなでつくったJaSSTnanoの いこ（ICO）（JaSSTnanoお世話係） 安達 賢二 きたのしろうま（JaSSTnanoお世話係） 糸峰 銀司 aka. きんぞ（JaSSTnanoお世話係） 原山 謙（リパソニックITS） 川崎 久美 かわくみ（JaSSTnanoお世話係） そうすけ（JaSSTnanoお世話係） 替（JaSSTnanoお世話係） やますん（JaSSTnanoお世話係）	15:50～ H4-1《30分》 QAって、この先どうなるの？——新卒QAが語る“伸びる人・止まる人”の分岐点 平間 良成（テカパン） 荻原 碧（テカパン） 岩崎 凜也（テカパン） 16:20～ H4-2《30分》 開発ライフサイクル全体で考えるプロアクティブなQA ～“品質の創り込み”の重要性和、PTW実践事例～ 木川 広基（ポルトゥウィン）	15:50～ I4-1《30分》 プログラミング不要！テスト自動化における生成AI使いこなし術 伊藤 望（MagicPod） 16:20～ I4-2《30分》 “AI駆動開発に対するQAを考える会”を立ち上げました！ 白川 亮太（ベリサープ）	15:50～ J4-1《30分》 新規事業×QAの挑戦：不確実性を乗り越えなす！フェーズごとに求められるQAの役割変革 塩澤 優（hacomono） 廣田 大騎（hacomono） 西 映音（hacomono） 16:20～ J4-2《30分》 JSTQB	14:25～ 《170分》 技法を探せ！ 下浅 大輔（テクノラボ） 巻 田弥（テックタッチ） 竹内 瑠央（サイボウズ） 友田 賢吾（Skillnote） 吉田 航（セイコーエプソン） 上田 京右（テクノラボ）		
休憩 16:50～17:20《30分》												
17:20～ A5《90分》 人と関わるロボットの研究開発 - ロボットにおける人間らしさの重要性 - 石黒 浩（大阪大学）												
18:50～ A6《15分》 クロージングセッション JaSST Tokyo 実行委員会												
情報交換会												